

岐阜県の プラスチック

- ・ 新年初事業『新春講演会』と『新春互礼会』を開催
- ・ 平成25年の県内プラスチック製造品出荷額は4259億円
- ・ 工業組合と組合員企業の事業内容を双方で発信
┌ 組合ホームページを全面リニューアル ─
- ・ 新年度総会は5月19日（火）グランヴェール岐山で開催

プラスチックと金型の両業界が交流した新年互礼会



新年初事業は金型工組と合同で開催

互礼会 増税後、円安、原油安で懇談 「未来に伝える先人の決断」 講演会

プラスチック工業組合と金型工業組合は1月23日、岐阜グランドホテルで『新春講演会』と『新年互礼会』を合同で開催した。合同事業は参加した両組合員に来賓や賛助会員を交えて「消費増税後の景況に、急速な円安と原油安が交錯する経営環境」をテーマに懇談した。

互礼会に先立つ新春講演会は、上方講談界の旭堂南青師匠が講演と講談『未来に伝える先人の決断・社会科では教えない歴史』を披露し「経営や従業員教育に生かそう」と呼びかけた。

堀部商工労働部次長ら来賓を招く

新年初行事、プラスチック工業組合と金型工業組合の合同事業は、当工業組合の杉山元彦副理事長の司会で開始した。

最初に金型工業組合の黒田隆理事長が開会あいさつに立ち「金型業界は自動車業界の生産販売計画に強い関心を寄せている。開発には必ず金型業界の役割があるので、新年は大きく期待できそうだ」と経営環境を見通した。

続く旭堂南青師匠の講演と講談の後、パーティー会場へ移って新年互礼会を開催、プラスチック工業組合の児玉栄一理事長が「プラスチック加工業の見通しはいぜん厳しい。世間は原油安というが、樹脂価格は円安で相殺されて下がらず、経営改善になかなか寄与してくれない」と一層の堅実経営を呼びかけた。

互礼会の席上には多数の来賓を招いて開催、代表して県商工労働部の堀部哲次

長ら二人から祝辞、県産業技術センターの河田賢次所長には乾杯の音頭を執ってもらった。

人材のスキルアップ図れ

児玉プラスチック工組理事長あいさつ

プラスチック工業組合を代表して児玉栄一理事長は「プラスチックと金型両業界の合同事業は4年目、その成果は大きく、さらに回を重ねて業界の振興に役立てたい」と前置きして、

「金型業界は早くもアベノミクスの円安効果が表れたと言われ、うらやましい。プラスチッ



新年互礼会に先立つ新春講演会では旭堂南青師匠の講談を聞いた

ク加工業は、未だに円安と原料高の厳しい局面から抜け出せない。アベノミクスが始まって2年目、この間、樹脂価格は高騰したまま、昨夏から原油やナフサが下がり始めても樹脂価格に反映されてこない。しかも消費増税や電力料金の値上がりが重なり、企業はいつまで厳しい経営を強いられるのか不安である」さらに、

「専門紙に掲載された原油の観測記事によると“原油価格の落ち着くところは70~80ドルで時期は2年後”とあり、その頃には樹脂価格も安定するものと確信しました。問題は為替相場で、いくら原油価格が下がっても円安が進めば相殺され、原油安のメリットは無くなる。原油安が樹脂価格に反映し、一息付ける日は近いと信じ、人材のスキルアップを図り、地道に改善や効率化を積み重ね、ものづくり産業として生き残っていききたい」とあいさつした。

新開発に金型の役割あり

黒田金型工業組合理事長のあいさつ

金型工業組合を代表して黒田隆理事長は「消費増税後の足踏み景気から急激な円安へ様変わりし、激動の経営環境が続いております。金型



あいさつする児玉理事長㊦と黒田理事長㊧

業界が頼るところは、自動車業界の生産販売計画です。とくに燃料電池車を始めとする新型車の開発競争には、必ず金型業界の役割があるからで、自動車各メーカーの成長戦略には大きな関心と期待を抱いております。こうした生産活動を支えていただくのが行政の方で、小規模企



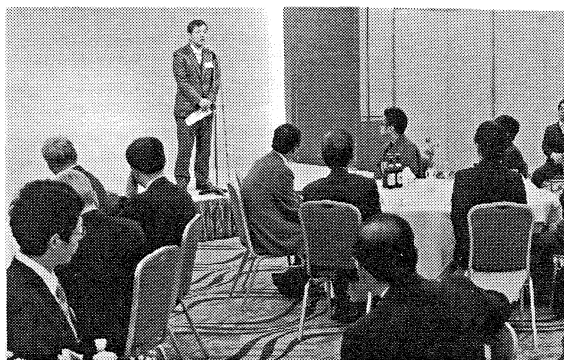
「合同事業を進める中で、両組合は新しい活路を見出してほしい」と河田所長の音頭で乾杯

業基本法が改正され、新年度からは地方創生事業がスタートしますが、県はじめ関係機関から情報を得て組合事業に役立てたい。両業界は合同事業を足がかりにホップ・ステップ・ジャンプでがんばっていく」と意欲を見せた。

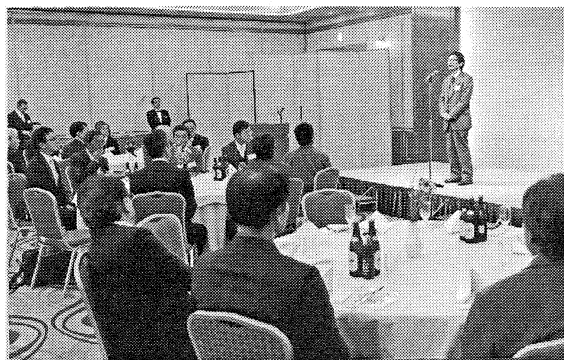
業界ニーズに基づき推進

—堀部県商工労働部次長ごあいさつ—

来賓を代表し堀部哲商工労働部次長は「新年度予算は編成中ではありますが、やはり昨年から推進している新技術・新製品開発、販路開拓、海外への展開、人材育成を柱に推進いくことには変わりありません。とくに“ものづくり”は県勢の原動力であり、産業技術と産業振興の製造業関係課をあげて支援していきます。新施策も編成中ではありますが、業界ニーズに基づく研



堀部県商工労働部次長



山下岐阜大学センター長

究機関の運営・研究に取り組み、施設更新により新時代を担える人材育成をめざしていきたい」と方針を示した。

企業と共同研究していく

—山下岐阜大学センター長ごあいさつ—

また岐阜大学金型創成技術研究センターの山下実センター長は「大学の機械工学部と金型研究センターを担当して若い人材を実践教育し、



来賓、賛助会員を交え、パーティー会場で和やかに交流したプラスチック・金型の両組合員

次世代に役立つづくりを推進しております。新年度も大学4年生と大学院生を継続教育していきます。とくに大学院生には企業と一緒にあって生産技術、製品開発に取り組んでもらい、イノベーションを創出する若き人材づくりを進めていく方針です。大学の金型創成技術研究セ

ンターは地元の金型・プラスチック両業界をサポートするばかりではなく、企業と共同で金型を研究・開発し、同時に人材を送り出す目的の教育をめざしておりますので、ご協力をお願いいたします」と産学連携を呼びかけた。

旭堂南青師匠の講演要旨 人に動機を与えて出世街道を走った秀吉

新春講演会は講談界の旭堂南青師匠を招き『未来に伝える先人の決断』をテーマに偉人たちは決断を迫られ、何を考えたかを話してもらった。

師匠は昭和55年大阪生まれ、近畿大学文芸学部卒業後、旭堂南左衛門の下で修行した。父親は大阪でプレス金型の工場を営んでいて「講演依頼があった時、何かのご縁…と思い岐阜へ来ました」と自身の出生から話した。

そして講談は話芸なので「見て来た様な嘘をつき」という川柳のように、どこでウソをつか判らないので「気軽に聞いてほしい…」と笑いで新年の空気をほぐした。(右上の写真)



い人はわずか、半分は女性である。

後半は講談「赤穂義士伝」刀の話

◎…先人の決断の話はいろいろありますが、当地ではやはり秀吉が『長短槍試合』で出世のきっかけを掴んだ話をしたい。

ある日、信長から「戦場では長い槍か、短い槍か」と問われ、秀吉は理由も考えず、度胸で長い槍を選んで試合に備えた。ところが秀吉は試合が迫っても槍術を教えず、足軽たちに飲み食いさせるばかり。当日になって信長に対する礼儀と突撃組、振り回し組など三班に分け、相手を倒した者に恩賞を与えると約束した。

鋭気を養っていた足軽たちは信長への儀礼の後、恩賞を授かるので大いに気をはき、勝ったことはいうまでもない。秀吉はこの時「人に動機を与え集団の力で大きな効果を発揮」し信長を感心させて出世街道を一気によじ登った。

南青師匠の話は銅像になった二宮金次郎、伊勢の河村瑞賢へと続き、後半で本番の講談『赤穂義士伝』のうち刀の一節を披露した。

講談界の歴史は古く南北朝時代

◎…昔は講談師のことを講釈師と呼び、発祥は古く南北朝時代といわれる。当時、戦いに敗れたり、怪我をした人たちは食うに困り、大道芸として見たり聞いたりした話をしたのが始まり。話芸の盛衰の中で浪花節や落語が生まれ、とくに二次大戦後にGHQから「仇討講談は戦争を引き起こす」として禁止・廃業させられた。水戸黄門・大岡政談・寛政の大相撲などの演目を話していた旭堂一門は残り、東京オリンピックの頃に息を吹き返した。田辺一鶴という講談師を思い出してもらえそうだ。

今、残っている純粋な講談師は90歳以上の老人ばかり。落語界は東西合わせると800人を超える。歴史ある講談界は東西合わせて70人、若

組合ホームページを全面リニューアル

4月スタートをめざして制作進む

岐阜県プラスチック工業組合
Gifu Plastic Industrial Association

組合加入のご案内はこちら

① 組合のご紹介
② 岐阜県のプラスチック産業
③ 組合加入企業紹介
④ お問い合わせ

プラスチックで毎日の暮らしを豊かに

岐阜県の7大地場産業のひとつとして、大きな広がりみせるプラスチック産業。工業資材から生活雑貨まで、毎日の暮らしを豊かにするあらゆる製品が自然豊かな岐阜の大地から生まれています。

知る

プラスチック×岐阜の現状について

探す

プラスチック製品をつくる会社

加わる

岐阜県プラスチック工業組合の一員へ

組合からのお知らせ
新着情報一覧

2014年10月17日 企業 【第215号】岐阜県プラスチック工業組合会報を発行しました。

2014年10月17日 業界ニュース 自動車産業適正取引ガイドラインが改訂されました。

2014年10月17日 新規加入 3企業が新たに岐阜県プラスチック工業組合

製品から企業を探す | プラスチック製品・加工技術ならお任せ！ 頼れるパートナーを見つけよう

| | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 容器・ケース | 生活用品・キッチン用品 | 自動車・鉄道・航空車両 |
| 住設・物流・建築資材 | 工業部品 | その他の製品 |

LEVEL UP VISION

わたしたちが目指すもの

- 業界の技術レベルの向上
- プラスチック技術士の育成
- 技術向上に向けたサポート

詳しくはこちら

岐阜県プラスチック工業組合会報

岐阜県のプラスチック

PDFで会報を読む

こんな取り組み

リサイクルで生まれたプラスチック製品

関連企業リンク

岐阜県プラスチック工業組合は、中小企業団体法に基づき設立した県下唯一の業界団体です。

現在の業界は内外からの激しい競争下に置かれています。経済環境はますます勢いで変化しており、それに対応していくには、業界が手を携え、多角的な新しい連携を基に企業同士が互いに親交を深め、刺激しながら変化に対応した新しい仕組みづくりを確立していかなければなりません。

その一翼を担う工業組合にご加入いただき、中小企業の発展に資する諸事情を推進してまいります。

理事長 **児玉 栄一**

工業組合はウェブ・サイトによる『組合ホームページ』の全面改定作業を進めていたが、4月からスタートする。

現行の組合ホームページは平成11年4月から公開し、組合と組合員企業の情報を発信してきたが、経済社会の環境変化やニーズに対応でき

るように全面リニューアルすることにした。新ホームページは『知る』『探す』『加わる』をキーワードに業界動向、組合紹介、組合員企業紹介、加入案内などを写真とともに発信し、同時にネット交流をきっかけに、ビジネスチャンスを広げていく方針。6～7頁は制作途中の新画面。

岐阜県のプラスチック産業

ホームページ、岐阜県のプラスチック産業

業界の位置づけ

岐阜県の7大地場産業のひとつとして、大きな広がりを見せるプラスチック産業。工業資材から生活雑貨まで、毎日の暮らしを豊かにするあらゆる製品が、自然豊かな岐阜の大地から生まれています。

事業所数 448 事業所（従業員4人以上）

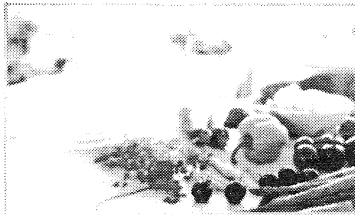
従業員数 18,996 人

製造品出荷額 4,259 億

付加価値額 1,372 億

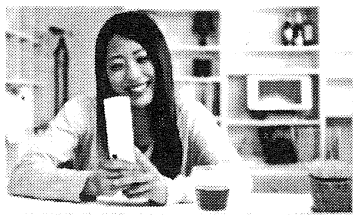
業種 射出成形・押成形・圧縮成形・中空成形・発泡成形・インフレーション・真空成形・注型成形

■ 主なプラスチック生産品目



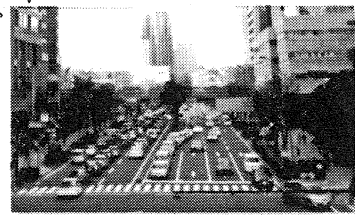
容器・ケース

包装・容器



生活用品・キッチン用品

家事用品、おもちゃ・玩具・楽器・文具・OA機器・遊具用品、キッチン用品、日用品、雑貨、化粧品類、小物、スポーツ・レジャー



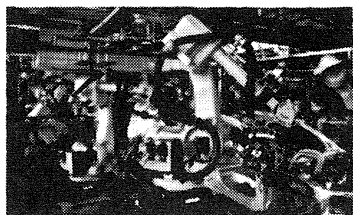
自動車・鉄道・航空車両

自動車・輸送機器、鉄道車両部品、航空機部品、FRP製高圧ガスタンク



住設・物流・建築資材

住設・建築資材



工業部品

各種産業機械、測定機器、家電、機械要素・部品、電機・電子・通信機器、電波関係部品、電力関係絶縁部品、光学機器、素子（高機能フィルム用）、ローラー（高機能フィルム用）



その他の製品

医療・福祉、家具、工具類、その他

平成25年の県内プラスチック製造業…速報結果

事業所数は減、製造品出荷額は4259億円

リーマン不況からようやく脱出し回復へ向かう

岐阜県がまとめた従業員4人以上の『平成26年工業統計調査結果（速報）』によると平成25年の岐阜県内産業はリーマン・ショックに始まる円高・デフレの影響を受けて事業所数、従業者数、製造品出荷額、付加価値額の各指標はいずれも減少した。

県内各産業が後退する中でプラスチック製品製造業は、減少した事業所数を除く3指標は増加し、24産業中の順位は事業所数6位、従業者数4位、出荷額2位を堅持した。伸び悩んでいた付加価値額もようやく回復し始め5位へ順位を上げたものの、従業者一人当たり付加価値額は未だに県平均899万円を大きく下回る807万円にとどまっている。

県全体の出荷額5兆円の大台割る

《県産業全体》事業所数は6169事業所で、前年に比べ232事業所（前年比-3.6%）減少した。増加したのは業務用機械器具製造業など3産業、減少したのは繊維工業、生産用機械器具製造業、窯業・土石など20産業にものぼった。

従業者数は19万209人で前年に比べ1952人（-1.0%）減少した。従業者数が増加した産業は業務用機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、生産用機械器具製造業など11産業で、減少は電子部品・デバイス・電子回路製造業、情報通信機械器具製造業など13産業もあった。

製造品出荷額は4兆7781億円で、前年に比べ2300億円（-4.6%）減少し、5兆円の大台を大きく割り込んだ。産業別には化学工業、食品製造業など10産業が増加、減少は情報通信機械器具製造業、電子回路・デバイス・電子回路製造業など14産業だった。

県全体の付加価値額は5%も減少

付加価値額は1兆7104億円で前年に比べ922億円（-5.1%減）も減少した。産業別で化学工業、プラスチック製品製造業、非鉄金属製造

など8産業が増加し、減少したのは輸送用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、金属製品製造業など16産業もあった

平成25年・岐阜県プラスチック業界の規模 (従業員4人以上)

◎事業所数=448事業所

(前年比1.3%減、6事業所減)

(県産業に占める構成比は7.3%)

(産業分類の産業別順位は6位)

◎従業者数=1万6996人

(前年比1.3%増、215人増)

(県産業に占める構成比は8.9%)

(産業分類の産業別順位は4位)

◎製造品出荷額=4259億2000万円

(前年比0.9%増、385億5000万円増)

(県産業に占める構成比は8.9%)

(産業分類の産業別順位は2位)

(1人当たり製造品出荷額2506万円)

◎付加価値額=1372億2200万円

(前年比3.0%増、39億7700万円増)

(県産業に占める構成比は8.0%)

(産業分類の産業別順位は5位)

(1人当たり付加価値額は807万円)

事業所数は減少し従業員数は増加

《プラスチック製品製造業》円高・デフレで低迷した平成25年の県産業の中で、プラスチック産業は事業所数を減らしたが、従業者数、製造品出荷額、付加価値額は共に回復基調に入ってきている。続く26年は消費増税による経済環境の影響もあるが、どのように調査結果に表れるのだろうか。

プラスチック製品製造業の事業所数は448事業所（従業者4人以上）で6事業所減少したが、その従業者数は1万6996人、215人増えた。事業所数では減ったが、従業者数は1.3%ながら増加し、県内他産業とは動向を異にした。

県産業に占める構成比は、事業所が7.3%の6位で、従業員数では8.9%の4位、前年調査と変わりなかった。

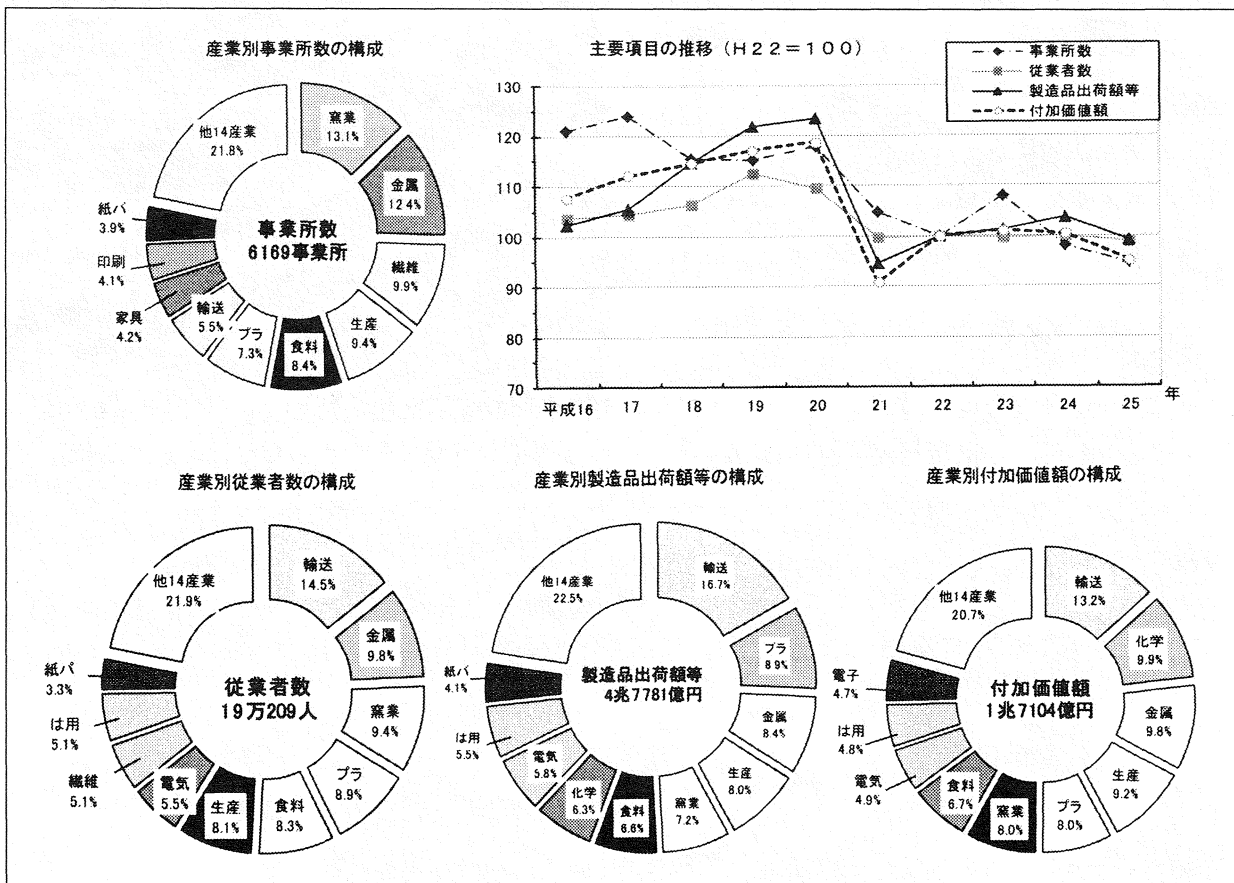
製造品出荷額は4259億2000万円で、0.9%に

当たる38億5000万円増加し、県産業に占める構成比は8.4%から8.9%へアップ、産業別順位2位を保った。また前年に続いてリーマン・ショック前に記録した出荷額（4802億円）へと一歩近付いた。従業員1人当たり出荷額は2506万円で、県平均より6万円下回った。

付加価値額低い輸送用機器関連

プラスチック産業の生産能力を示す付加価値額は1372億2200万円で、3.0%増に当たる39億7700万円増加し、構成比7.4%から8.0%へ、産業別順位も6位から5位へ上げた。

この結果、従業員一人当たりの付加価値額は809万円になったものの、県平均899万円には及ばなかった。一方、輸送用機械器具製造業の場合も818万円で、従業員1人当たり付加価値額の低さは自動車を始めとする関連産業全体に共通する課題であるようだ。



ブロー成形の実技検定実施

0.5gの微調整に苦心

受検者は1級2人、2級は6人

工業組合は職業能力開発協会から受託した平成26年度後期技能検定『プラスチック成形・ブロー成形作業』の実技試験を実施した。受検者は1級2人、2級6人の合計8人。会場は例年と同じ神戸町のコダマ樹脂工業(株)本社工場で、1月30日の事前説明会、続いて2月2日から4日間、実技検定試験を行った。

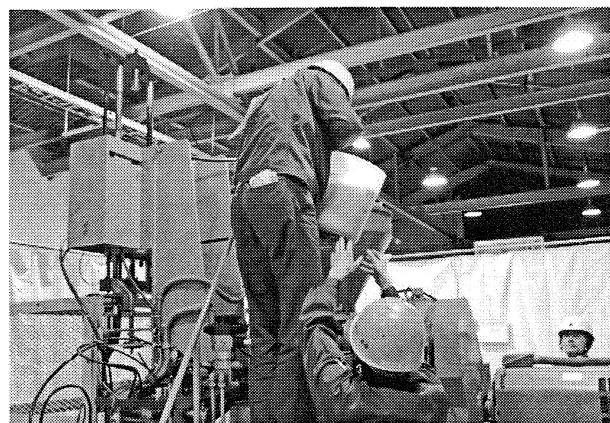
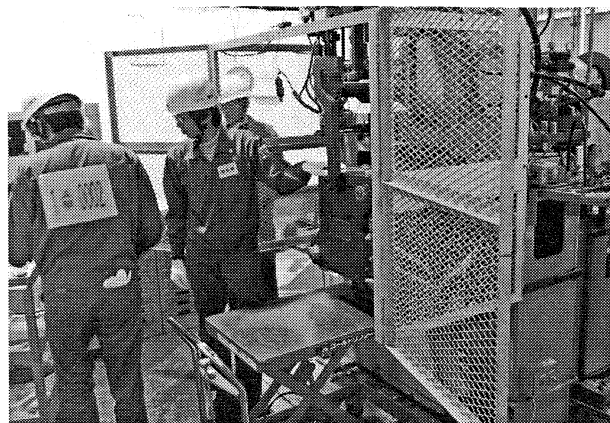
2樹脂で1級各50個、2級各20個

試験内容は1級が『3時間30分以内にポリエチレン、ポリプロピレンの2樹脂を使い円筒形のボトル各50個成形』した。2級は『2時間30分以内にポリエチレン2樹脂を使い円筒形のボトル各20個成形』した。

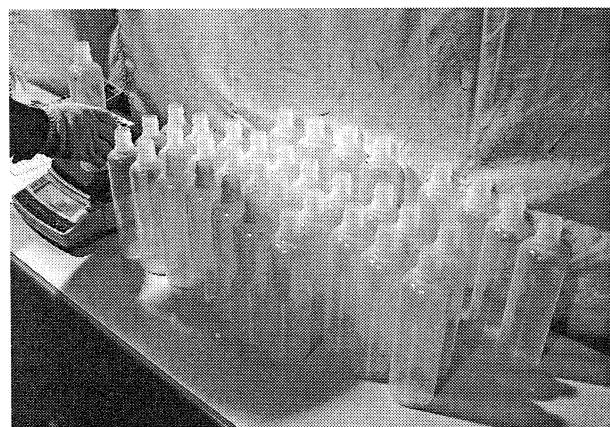
使用したブロー成形機は口径50mmの小型機種で、受検者は金型取り付け→エア・ヒーターの調整→スクリュー調整などを順次行い、高さ213mm×直径58mmのボトルを次々成形した。課題の円筒形ボトルは『重量30g、±0.5gの精度』とあって受検者は苦心の微調整を繰り返した。

合格者の発表は3月13日（金）に

実技検定の審査会は2月10日、学科試験は2月8日に行われ、合格者発表3月13日（金）。



成形機への金型取り付け作業と樹脂の投入



受検者は1個1個計量し成形品の重さを確認

射出成形の受検申請受付

└組合への申請は4月10日までに┘

工業組合は平成27年度前期技能検定の『プラスチック成形・射出成形作業』の受検申請を4月10日（金）まで受け付ける。

組合では検定スケジュールに合わせて知識説

明と操作説明を行う『事前説明会』また希望者には『技術確認講習会』を開催予定している。実技検定は6月から8月にかけて実施し、学科試験は8月23日（日）に、合格者の発表は10月2日（金）に予定されている。

技能確認講習会の定員は希望者数によるが、前年度は24人参加した。

5月19日グランヴェール岐山で
平成27年度の総会を開催
4議案の審議と役員改選を行う



佐藤敏彦講師

工業組合は5月19日(火)岐阜市内にあるグランヴェール岐山で『第47回通常総会』を開催する。総会スケジュールは午後4時に開会して議案審議、同5時30分から講演会、同6時40分から来賓・賛助会員を迎えて懇親会を開催予定している。

総会に先立って理事会を開催し、総会提出議案を最終チェックする。

総会提出議案は①平成26年度事業報告と収支予算②平成27年度事業計画と収支予算③平成27年度取引金融機関及び借入金最高限度額一を審議する。議案審議に続いて任

期満了に伴う役員改選を行い新役員を選ぶ。

講演は『事業承継成功の秘訣』

総会後の講演会は(株)パスエイド代表の佐藤敏彦氏を招き『事業承継成功の秘訣』をテーマに、企業の人事から事業承継にいたる幅広いヒントを話してもらう。

佐藤講師は日立関連に30年勤務し新人から幹部まで階層別教育体系を構築、整備に活躍してきた人。今回は戦国武将を題材に事業承継のあり方を中心に解説してもらう。

省エネで生産コスト削減

「4月13日省エネの進め方でセミナー」

工業組合は4月13日午後3時30分(予定)から岐阜産業会館に中部電力省エネ担当者を招き『省エネルギーセミナー』を開く。

セミナーの内容は①企業の省エネ活動の現状②エネルギー見える化のすすめ③見える化分析事例④省エネルギーのポイントと事例一など省エネの進め方と事例を話してもらう。とくにプラスチック業界に焦点をあてて節電・省エネから改善へのアドバイスをしてもらう。

◇メッセナゴヤ2015の出展企業募集中◇

名古屋港・金城ふ頭のポートメッセナゴヤで開催される『異業種交流展示会・メッセナゴヤ』は11月4日から4日間と決まり、出展企業を募集している。今回は出展1315団体、1685小

間、来場者6万5975人を記録したマンモス展示会で、出展申込みはメッセナゴヤ事務局(名古屋商工会議所内 TEL052-223-5708)5月29日まで。

◇社員定着への人材育成を応援します◇

テンプスタッフ・ピープル(株)は、岐阜県から受託した『中小企業社員定着支援事業(ぎふ未来企業グジョブプログラム)』を無料実施している。詳細は13頁に掲載。

岐阜県のプラスチック
2015年 第219号

平成27年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 岩津 文子

中小企業庁の情報発信



中小企業庁ホームページ
<http://www.chusho.meti.go.jp/>

中小企業庁

検索

中小企業施策に関する最新情報をはじめ、金融・税制などの情報や助成金の公募状況、関連イベントの開催情報などを提供しています。
パンフレットやチラシなどのネット申込みやダウンロードも可能です。



携帯電話で中小企業施策情報にアクセス！
新着情報はもちろん、外出先でも役に立つ情報が手軽に入手できます。モバイル中小企業メールマガジン(水曜日配信)もぜひ登録ください。

モバイル中小企業庁
<http://chusho.mjmk.jp>



各種出版物

各種冊子については、中小企業庁のサイトにて直接お申し込みください。その際、中小企業支援機関以外の方については送料をご負担いただいております。発送スケジュールがありますのでサイトをご確認ください。個別発送は行っていません。

編集・発行

〒100-8912 東京都千代田区霞ヶ関1-3-1

中小企業庁 広報室 03-3501-1709

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

ノバテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

ニューコン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

ファンクスター®

射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維強化ポリプロピレン

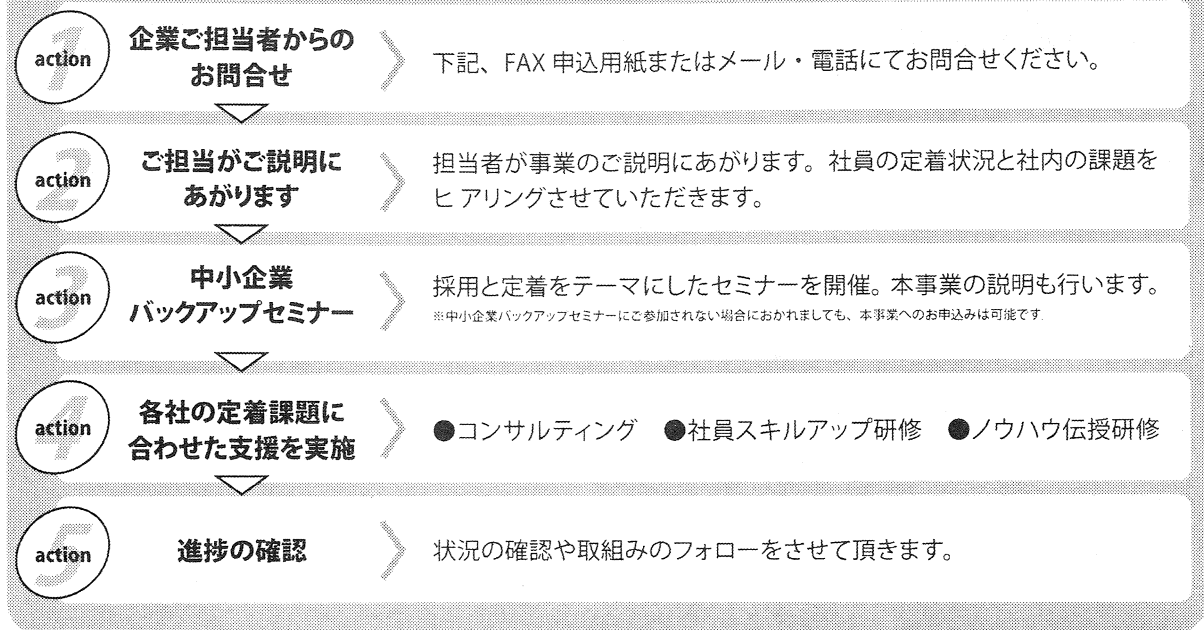
 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

岐阜県中小企業社員定着支援事業 (ぎふ未来企業グッジョブプログラム)

採用難時代の今だからこそ、岐阜県の中小企業人材育成を応援します！

事業スケジュール



問合せフォーム (FAXにてお送り下さい)

| | | | | |
|--------|---|--------|---|-----------------------------------|
| 会社名 | | 住所 | 〒 | 社員定着のための支援が 無料 にご利用いただけます。 |
| 部署/役職 | | 氏名 | | |
| TEL | | E-mail | | |
| FAX | | | | |
| 事業について | <input type="checkbox"/> 本事業に参加したい <input type="checkbox"/> 詳しい説明を聞きたい <input type="checkbox"/> その他 | | | |

※お預かりした個人情報は、本事業の運営管理の目的以外では使用いたしません。

テンプスタッフ・ピープル株式会社

【事業内容】一般労働者派遣事業/(般)23-020001 有料職業紹介事業/23-ユ-020052

TEL : 052-265-5860 / FAX : 052-265-5890

**岐阜県中小企業社員定着支援事業
ぎふグッジョブプログラム運営事務局**

E-mail gifu-job@temppeople.jp

本事業は、岐阜県よりテンプスタッフ・ピープル株式会社が受託し実施いたします。

主催：岐阜県

雨水利用タンク

ホームダム

RWT-250

ご家庭で雨水の有効利用に!

異常気象からの水不足、あるいは集中豪雨…。水の大切さを見直す時が来ていると思います。自然のめぐみ雨水をもっと活かして使うことを考えましょう!!庭の草・花・木への水やり、洗車などまだまだたくさん活用出来ます。



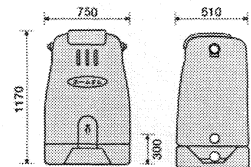
1 専用付属部品で簡単施工
(丸型トイレ 55%・60%・75%)

2 ドレン付で簡単清掃

3 架台付きです
(別架台はオプション)

4 水道料金の節約
(例) 某市で料金200円/m³を納めているご家庭では、
・ホームダム1杯(250ℓ)約50円
・週に2杯溜めると約400円/月
・年間では約4,800円が節約出来ます。

5 雨水タンク転倒防止用
Uポート金具付です



■製品仕様

| | |
|----|-------------|
| 容量 | 250ℓ |
| 重量 | 約22kg |
| 材質 | 超高分子量ポリエチレン |



コダマ樹脂工業株式会社

本社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4141
 本社営業部
 容器包材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4992
 産業資材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-5055

東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10(オークビル京橋) TEL(03)3564-5266
 大阪支店 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番2号(新サケビル7階) TEL(06)6341-0015